

授業科目

介護過程II

担当教員名 吉田 輝美	対象学年	2	対象学科	社会（介護福祉コース必修）
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	◎	◎

授業の概要

他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う学習とする。

授業の目的

他の科目で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスの提供ができる能力を養う。

- ・介護過程の意義、展開について理解する。
- ・介護過程の実践的展開について考えることができる。
- ・介護過程がチームアプローチにおいて有効であることを理解する。

学習目標

- 1 介護過程の意義と目的を理解することができる。
- 2 情報を収集し分析する手法を理解することができる。
- 3 情報を統合しニーズを導き出し目標を設定することができる。
- 4 ケアプラン作成の流れを理解することができる。
- 5 関係職種について説明をすることができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	介護過程の意義と目的	講義	吉田 輝美
2	情報の収集＝様々な状況におかれている人の生活を理解する（認知症）	演習	吉田 輝美
3	情報の収集＝様々な状況におかれている人の生活を理解する（認知症）	演習	吉田 輝美
4	情報の収集＝様々な状況におかれている人の生活を理解する（パーキンソン病等）	演習	吉田 輝美
5	情報の収集＝様々な状況におかれている人の生活を理解する（パーキンソン病等）	演習	吉田 輝美
6	情報の収集＝様々な状況におかれている人の生活を理解する（パーキンソン病等）	演習	吉田 輝美
7	情報の収集＝様々な状況におかれている人の介護過程を考える	演習	吉田 輝美
8	情報の収集＝様々な状況におかれている人の介護過程を考える	演習	吉田 輝美
9	情報の収集＝様々な状況におかれている人の介護過程を考える	演習	吉田 輝美
10	情報の収集＝様々な状況におかれている人の介護過程を考える	演習	吉田 輝美
11	情報の収集＝様々な状況におかれている人の介護過程を考える	演習	吉田 輝美
12	介護過程と他職種	演習	吉田 輝美
13	介護過程の展開	演習	吉田 輝美
14	介護過程の展開	演習	吉田 輝美
15	介護過程の展開	演習	吉田 輝美

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	事例で読み解く介護過程の展開	森繁樹	中央法規出版	2016年		前年度購入済み
参考書						
その他の資料						

評価方法

レポート・授業態度・グループワークへの参加状況

履修上の留意点

オフィスアワー・連絡先

授業時に確認すること